

小田原箱根大博覧会 観光の巻 いざ、幕開け!

産業まつりとして親しまれてきた当所の年間の最大イベントは、数年前から「小田原箱根大博覧会」と呼称を変え、期間も延長して、単なる楽しい夏祭りを超えて、充実、成長してきました。

このイベントの目的は、1.地域の皆さまに日頃のご愛顧への感謝を表す 2.会員企業に自らの商売のPRの場を提供する 3.小田原、箱根の観光振興に資する の3点です。

今年は7月16日(土)の小田原駅前のポケットパークでのオープニングから約2ヶ月間、小田原箱根を舞台に盛りだくさんなプログラムが展開されます。様々なお仕事を体験していただく「なりわい体験」、「おしごとフェア2016」、小田原箱根の魅力を発信する「小田原箱根イイトコ発見!再発見!ツアー2016」、「温泉アカデミー」、さらに「小田原箱根観光キャッチコピーの公募」など、盛りだくさんです。詳しくは当所のHPをご覧ください。

<http://odawara-hakone.net/2016/>

企画と運営を担当する実行委員会は青年部(YEG)が中心になり担ってくれています。昨年、小田原と箱根が合併し、ひとつの組織になり、さらにパワーアップして青年部(YEG)の真骨頂を発揮してくれることでしょう。

昨年の箱根・大涌谷の事象からの学びを活かし、来る2019年のラグビーW杯、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、ご当地の魅力を磨き、伝えるために、今年は特に観光を意識し、サブタイトルを「観光の巻」と付けました。さらに外国人のお客様も意識して、キャッチ名称を「OH! EXPO」としました。「OH!」はもちろん、驚き・感動の言葉と ODAWARA、HAKONE の頭文字を重ねたものです。

箱根も平常を取り戻しつつあり、小田原城天守閣も新装オープンし、ブラタモリ、アドまちっく天国、真田丸などTVでの露出も増え、観光客も増えて、いい兆しを感じます。この流れを一過性に終わらせることなく、さらに次へつなげるには、先日当所が発表した「小田原箱根の観光ビジョン」での提言を一つひとつ実現していくことが必要です。

<http://www.odawara-cci.or.jp/information/bijon.html>

今回の「小田原箱根大博覧会 観光の巻」を、魅力あるふるさとづくりの新たなスタートとしてまいりましょう。

会頭 鈴木悌介